

福岡県移住者子弟留学生 第2回報告書（9月）

テーマ

「この夏のこと」

ブラジル福岡県人会
シルバー 石井 ジェゴ

九州大学
システム情報科学府

(原文のまま)

8月の中旬に富士山を登るために静岡県まで行きました、夏休み期間だったので18切符で行きました。8月14日の朝に5時半に起きてる寮の近くにあるJR香椎駅で始発の電車に乗りました。

日本で電車で遠くに行くのは初めてで、乗り換えを途中で間違えてしまいます初日に少し計画より遅れてしまいました。

覚悟はしていましたが思ったよりも疲れましたが初日には大阪でおりて少し観光した後夜に京都に付きました。

8月15日は京都をメインに観光しました、最初に清水寺に行き、工事中ですしっかりと見られなかったのが残念ですがやはり写真なので見るより壮大でした。次に伏見稲荷大社に行きました、ついてから知ったのですが

伏見稲荷大社は山の上までありせつかく来たので頂上まで行きました、思ったよりも疲れましたが頂上についてみると標高は233メートルでこれから富士山に登るのにこれのやく6倍(五合目の吉田ルートから頂上までやく1400メートル)と思うと考ただけである疲れますが改めて覚悟が出来ました。

金閣寺に行き思ったよりも普通で四季がより感じられる秋か冬に機会があればまた来たいと思いました。最後に京都タワーに行きましたが台風が近かったので上へ登るのは閉まっていました。

夜はホテル始めて泊まりました、外国人が多く皆英語を喋れて良い経験でした寝る前にランプを一緒にして楽しかったです。

8月16日は朝早くに起きて始発で東京に向かいました。

向かう途中で静岡県で降りて登呂遺跡という所に行きました、駅から少し遠くてバスで行く必要がありました福岡で使っているICカードが全国で使えるのはとても便利でバスや地下鉄などで支払いを気にしなくていいのはとても良かったです。

その次の世界遺産である蘆山反射炉に行きました、駅から遠く電車で行くには少しアクセスが悪く約30分位歩かなければ行けませんでした。たどりつくまでに苦労しましたが行けて良かったです、説明を聞いて反射炉を理解して産業革命の始まり要だと理解できました。

そして夜には東京の新宿に着きました、疲れていたのを早くに寝ました。

8月17日の夕方に富士山を登り始めるのでまだ時間があつたので朝早くに起きて東京を観光しました、東京観光と考えたときに最初に思い付いたのが雷門でした、なので最初に浅草寺

に行き写真を色々取りおみくじも引きました、おみくじの支払いは全部自分で引いて払うのはブラジルでは想像もできませんきっと日本ほど平和な国だからこそうまくいくと思いました。

その後に東京タワーに行き、その後に秋葉原に行き少し歩いたら高速バスに乗るために新宿に向かいました。

バスは約二時間で富士の五合目に到着し日本に来る前にブラジルで知り合った他の留学生たちと会って約6時30分に上り始めました、最初は皆一緒に登っていましたがその内に人それぞれのスピードに合わせて自然と3グループに分かれました。私は真ん中のグループで3人で登りました、最初は簡単でしたがだんだんときつくなっていきました、途中で休める場所があったのがとても良くしかし人が多くて休憩所によってもたまにしっかりと座ることもできませんでした。8合目を過ぎたころから余り休めるところもなく登るしかありませんでした、しかし頂上の手前あたりが特にきつく岩場でそこらへんで何とか座れる場所を探して休みました。やっと頂上に着いたのが午前4時ごろでとにかく風が強くて日の出が5時3分と聞いていたのでレストラン温まるためにおでんを頼んで休憩しました。

外に出るとあたりはすでに明るくなり始めており日の出をしっかりとみる事が出来ました。

ご来光を見た後に皆と合流して7時ごろにおり始めました、下りでは登りよりの様に休憩所がほとんどなく登りの疲れもあり下りが一番きつかったです。この日はしっかりと休みました。

次の日は福岡に帰るために朝早くに起きて電車に乗りました、途中で姫路駅で降りて姫路城を観光しました、夜は広島まで行きました。

広島では広島城、宮島と原爆ドームに行きました、私たち日系にとっては戦争から逃れるためにおじいちゃんやひいおじいちゃんが海外へ移民したのでかんがえぶかったです。

最後に北九州にある恐竜博物館に行きました閉館の少し前に着いたので余りしっかりと見れませんでしたそして富士山を登った後なので少し疲れていました。

福岡に近づくにつれて博多弁が聞こえてきて安心しました、色々な所に行き福岡がとても良いところと改めて認識しました、とても疲れましたがとても良い経験でした。

(原文のまま)

この3分の1の終わりは短い時間けど色々なこと起こりました。7月上旬には、子弟招へいというイベントがあり、アメリカ大陸のさまざまな国から19人の子供たちが日本に来ました。さまざまな視点や文化など、さまざまな方法で多くの経験をすることができました。賑やかすぎですが、子供たちとたくさん楽しみがありました。私たちは日本の文化についてもっと学ぶことができ、例えば福岡の観光地を知ったり、団扇を作ったりすることができました。

いつかその子どもたちが県費留学生として日本に戻ってくるのがいいと思います。特に子供にとっては、国籍が異なっても、言葉の壁があってもお互いに交流し、友達を作り、日本をとて楽しむことができました。ブラジルからは4人の子供、2人の女の子と2人の男の子がいました。みんなとすごく仲良くしたから、別れの時にさびしかった。

大学の研究室で多くの実験を行い、研究の第1段階を完了することができました。佐賀県で開催された学生会議にも参加しました。このような科学イベントに参加したのは初めてでした。日本語の講義やプレゼンテーションはあまり理解できませんでしたが、それでも非常に興味深かったです。このイベントの間に、九州大学の他の研究室や他の大学の研究について少し学ぶことができました。典型的な食べ物や日本酒など、佐賀の文化についても少し学びました。

8月中日本で多くの典型的な夏の経験をしました。例えば台風を見ました。それに、初めて花火大会に行って、家族会の皆さんと一緒にとても楽しかったです。浴衣を着て、祭りでたくさん食べることができ、花火は素晴らしかったです。家族会と一緒に、ぶどうがりにも行きました。ぶどうはとても大きくておいしかったです！福岡の家族と一緒に多くの時間を過ごしました。別の花火大会に行きました。今回もとてもきれいでしたが、花火を近くで見ることができました。

お盆の時は福岡の家族と過ごしました。でも今度は知らない人がたくさんいたけれどとてもにぎやかでした。大学では、研究室が実施するHPLCワークショップに参加しました。非常に興味深く、多くのことを学びましたが、多くの講義は日本語です。最も驚異的な経験は、富士山に登ることでした！私はブラジル人学生のグループと一緒に行きましたが、それは非常に困難でした。お盆休みだったので多くの人が出て、登るのに12時間かかりました。とても寒く、登るのは簡単ではありませんでした。下るのは非常に激しいもので、脚全体の努力が必要で、約5時間かかりました。私の体全体がすごく痛かったし、非常に疲れました。しかし、困難にもかかわらず、山の頂上から日の出を見ることができました。富士山はそれだけの価値があり、私の人生で見た中で最も美しい風景の1つでした。その後、友達と河口湖へ旅行することができました。霧に覆われた富士山を遠くから見ることはできませんでしたが、私たちはボートとロープウェイを利用しました。荒倉浅間寺も訪れま

したが、富士吉田市と遠くの富士山を見下ろす山腹にある五重塔である忠霊塔に会いました（霧のため見えませんでした）。

ブラジル福岡県人会

江藤 エンヒッケ イチロウ

九州大学
システム情報科学府

（原文のまま）

日本に夏がやってきました。福岡市の夏の天気はブラジルの私の出身地のより少し過ごしにくいです。日光は弱くても湿度がとても高いです。部屋から出るとき、サウナに入ってるように感じます。熱中症を避けるために、毎日団扇を使い、ポカリスエットを飲んだりしています。一週間に、何度も雨が降るので、傘とレインコートを持って出かけます。

毎日蝉のなき声が聞こえ、時々変な蜘蛛やゴキブリを見かけます。私は蚊に刺されないために蚊取り線香を使います。懐かしい香りを感じ、祖母の家を思い出します。

他の県費留学生達と一緒に奈多海岸に行きました。バレーボールや海水浴を楽しみましたが、皆さん、クラゲに刺されました。

北九州の家族会のメンバーと一緒に夏祭りに参加しました。私はラムネを飲んだり、焼きそばとたこ焼きを食べましたが、おいしかったです。浴衣を着れる経験もできて、夏祭りは楽しかったです。

久留米市で、花火大会を見ました。ブラジルの花火よりとてもきれいです。花火の総費用はブラジルから日本への片道旅行の4倍であると聞きました。

香椎ダムまで自転車で行きました。山に登る事は難しいですが、ダムの周りの景色は美しいです。それは価値がありました。

夏休みには旅行をしないで、ほとんどの時間、日本語と大学の研究室の科目を勉強していました。冬には北海道に旅行したいと思っています。

もうすぐ秋が来るのが楽しみです。寒い日は暖かい服を着て、熱いスープを飲むのが好きです。

子弟招へのイベントに参加しました。目的は県費留学生達が各国からやって来た引率者と一緒に子弟の世話をする事でした。子供達はブラジル、パラグアイ、ボリビア、ペルー、アルゼンチン、コロンビア、メキシコ、カナダとアメリカから来ました。

このイベントの間に子弟と色々な事を経験しました。私達は太宰府で梅が枝餅を作ったり、舞の里とあやめが丘の小学校を訪れたり、小倉城を見学し、福岡防災危機管理局を訪れたり、福岡タワーにも行きました。子供達の出身地ではこのような活動はできません。そして、時間があいた時に子供達と一緒にバレーボールやラグビーをしました。少し疲れましたが、とても楽しかったです。子供達がこのイベントの体験で日本や福岡県のことを好きになってくれたらうれしいです。

外国の子供達と日本の学校の生徒達の交流を観察するのは面白かったです。同じ言語を話さなくても彼らはなんとかジェスチャーを使って交流していました。子弟招へいは、現代の子供たちがどのようなもので、スマートフォンを使い、インターネットに接続し、知識に囲まれているのを私達に見せてくれました。同時に数人の子供達の世話をしなければならないことで、より多くの知識と忍耐を得たと思います。

コロンビア福岡県人会
坂本 サチ アンドレア

純真短期大学
食物栄養学科

(原文のまま)

6月から夏休みでたくさん時間があるので、とても楽しかったです。私の夏休みは最も興奮しておもしろかったです。夏休みは本当に忙しかったのですが、日本でたくさん旅行する機会があり、日本でコロンビア人の家族と会うことができ、とても幸せです。

6月に私たちは子弟招へい事業は福岡から海外に移民した子孫を故郷に連れてくるという信じられないほど素晴らしいプログラムです、1週間でペルー、ボリビア、アメリカ、ハワイ、アルゼンチン、メキシコ、ブラジル、パラグアイ、カナダなど色々な国の文化を知ることができるとは想像もしていませんでした。私たちは子供たちに日本の文化をしてもらうため、たくさんの活動をしました。そして福岡にたくさんの場所も訪れました。私のお気に入りの場所は、福岡タワーとマリワールドです。私たちは防災センター、そして文化交流をするために小学校に行きました。私たちはラーメンを作り、そして寺を訪れました。

休みに入って最初にしたことは沖縄旅行です、沖縄には県費留学生四人で行き色んな場所に行きました。

美ら海水族館、万座も、ナゴパイナップルパーク、ニライカナイ橋、沖縄ワールド、平和記念公園、沖縄アウトレットモール、海空トンネルと色んな海に遊びに行きました、美ら海水族館はとても大きくて見たこともない動物がたくさんいました、一番印象に残ったのがジンベイザメです、沖縄ワールドでは、どうくつに入りました、景色がとても美しかったです。沖縄はとてもきれいでした。私が沖縄で一番楽しんだことは、ビーチを見たり、ビーチに行ったことです。海はきれいでとうめいで天気もあつすぎなかったたので良かったです。そば食べました。とてもおいしかったです。ぜひまた行きたいです。

沖縄から帰って来て、家族会の皆さんと花火大会に行きました、花火大会では色々な食べ物があつてすごくおいしかったです、人もいっぱいいました。久留米での花火大会も素晴らしかったです。それはとてもきれいでした。激しい暑さにもかかわらず、私はすごく楽しみました。暑い日々はまだ続きます。毎日が熱くなっています。南米が一番暑いつて思っていました。家族会 ぶどう狩りにも連れて行ってくれました！コロンビアのぶどうよりうまいです！

最後に、東京で私の家族を会いに行きました。母、祖母、叔母、叔母の夫は日本にいました。再びみんなに会えて本当に幸せ。私たちは東京の人気ある場所に行きました。たとえば、東京タワー、渋谷通り、動物園上野公園、お台場公園、ディズニーランド東京、秋葉原通り、竹下通りなど、たくさん買い物をしました。あそこで食べ物は美味しかったです。

わたしたちはかんらんしゃに乗ってたくさんの写真をとりました。

母と一緒に阪に行きました。母と一緒に時間を過ごすのは良かったです。大阪城の建築をみました。道頓堀で買い物をしてわたしたちはお好み焼きを食べました。ユニバーサルスタジオに行きました。USJでわたしたちはジェットコースターに乗りました。楽しかったです。ユニバーサルスタジオはこの旅行でもっとも思い出にのこりました。一つだけ楽しくなかったことは、長い時間れつにならぶことでした。それ以外はすばらしかったです。大阪の最終日、私たちは遅く起きて、電車も遅れたのでフライトを失いましたが、良いことは新幹線に乗る機会があることです。速かったし、時速 300 km を超えるとは感じない。

夏休みはとても楽しかったです。楽しい思い出をいっぱい作りました！そして、忘れられない経験をしました。私の授業は9月の最後の週に戻ってきます。私いろんな授業を取っています。私は懸命頑張ります！

在ボリビア福岡県人会

岩瀬 ケービン 司

第一自動車大学校
自動車整備士コース

(原文のまま)

8月がやってきました。8月と言えば楽しい夏休みです。夏休みに入って最初にしたことは沖縄旅行です。沖縄には県費留学生四人で行き色んな場所に行きました。美ら海水族館、万座も、ナゴパイナップルパーク、ニライカナイ橋、沖縄ワールド、平和記念公園、沖縄アウトレットモール、海空トンネルと色んな海に遊びに行きました。美ら海水族館はとても大きくて見たこともない動物がたくさんいました。一番印象に残ったのがジンベイザメです。沖縄ワールドでは、どうくつに入りました。景色がとても美しかったです。沖縄の海ではバナナボート、カヤック、アヒルボートに乗りました。一番楽しかったのは、アヒルボートです。なぜなら誰がボートから落とされるかを競い合ったからです。

沖縄から帰って来て、家族会の皆さんと花火大会に行きました。浴衣を着ていた女性三人と男二人はとても可愛くカッコよく見えました。花火大会では色んな食べ物があってすごくおいしかったです。人もいっぱいいました。ボリビアでは見れない大きくて美しい花火でした。帰りは人がいっぱいいたので電車はすごくこんでました。家族会の皆さん美しい花火とおもいでを作ってください、ありがとうございました。

その一週間後に埼玉に住んでいる友達に会いに行きました、友達は私と同じ日系ボリビア人で二年ぶりに会いました。その夜友達の家で久しぶりにボリビアふうのバーベキューをしてくれました。すごくおいしかったです。バーベキューには日系ボリビアの友達がおおぜい来てくれました。思いで話をたくさんして楽しかったです。皆に会えてすごく良かったです。また会えるのをねがってます。

その次の日にはおじさんに会いに行きました。おじさんはブラジル料理店に食事をしに連れて行ってくれました。すごくおいしかったです。福岡に帰る時になると台風で帰れなくなり少し焦りました。でもあと一日友達にお世話になり福岡に帰ってこれることができました。帰る時になると寂しい気持ちになりました。その当時はお世話になりました。とても楽しかったです。25日は家族会の皆さんがぶどう狩りに連れて行ってくれました。はじめてのぶどう狩りでした。ボリビアのぶどうより大きくて甘かったのでとてもおいしかったです。そのあとにそばのめんを作る体験をしました。そばを作るのは思っていたより難しかったです。力のいれかた、水のりょう、粉のりょう、のばしかたと切り方色々な計算が必要でした。でもとても貴重な体験で楽しかったです。寮に戻り作っためんて料理を作りました。

家族会の皆さん貴重な体験ありがとうございました、とても楽しい一日でした。26日から長い夏休みが終わり、授業がはじまりました。久しぶりの授業です。友達の皆は元気になっていて、夏休みの話をたくさんしました。夏休みが終わり、これからも勉強を頑張りたいと思います。皆さん本当にお世話になりました、ありがとうございます。

アルゼンチン福岡県人会
杉野ニコラス

九州大学
システム情報科学府

(原文のまま)

7月に日本に来てから一番忙しい事業がおこなわれました。この事業はアメリカ大陸で色々な国から引率者と日系人の子供たちが福岡に来る事業です。子弟省へいの間に寮から引っ越しして、グローバルアリーナという宗像にある場所に県費留学生と引率者と子供たちと一緒に泊まりました。

初めは子供たちが両親から離れて、不安で、寂しそうでした。そのうえ、話せる言葉が違うから内気な子供は友達を作れませんでした。でも、数日を過ぎて、一緒に泊まって、遊んで、食べてから皆が友達になりました。だから、言葉が違うにもかかわらず、子供たちは経験を楽しむようになりました。活動がないときに子供部屋で遊んだり、外でスポーツをしたり、話したので、その時もととても楽しかったです。引率者と県費留学生はゲームか活動を考えて、とても頑張りました。

日本の小学校に初めていったので、びっくりしました。学生は丁寧で、自分の学校を掃除して、向こうの同じ年齢の子供たちと比べてもっと責任があり、大人みたいです。私は日本語が良くないから通訳が必要な時に大変になっても、たくさん学べました。

子弟招へいの終わりに子供は事業の期間がもっと長くって欲しいと言っていました、寂しそうな顔をしていたので、とても楽しかった事業だと思います。私は子供のころ、この事業について知りませんでした。なので、参加しませんでした。でも、今年の子弟省へいに参加して、子供の時に来れなかったことを後悔しています。

子弟省へいが終わってから暑い日が始まりました。ですので、皆の県費留学生といっしょに海岸に遊びに行きました。奈多と言う海岸まで電車で行くのはそんなに遠くないけどたくさん食べ物と飲み物をもって行ったので大変でした。日本にいる間に初めて海岸に行って、海で遊んだからいい日でした。

沖縄に旅行に行きました！日本に4年前来ましたが、沖縄に行けなかったので本当に行きたかったです。留学の間運転できないから、那覇に泊まって、そこから色々な観光地に行きました。二つのツアーを予約して、ツアーに万座毛や美ら海水族館やナゴパイナップルパークや沖縄ワールドや平和祈念公園やひめゆり平和祈念資料館に連れて行ってくれました。ツアーがない日には アメリキャンビレッジの近くにある海岸に行って、さまざまなウォータースポーツをしました、雨が降ったけど、とても楽しかったです。そして、沖縄料理を食べることができました、海ブドウ、沖縄そば、紅イモタルト、ポーク卵おにぎり、ゴーヤを食べました。ゴーヤ以外全部とても美味しかったです。そのうえ、毎晩新鮮で美味しくて安い刺身を食べて、よかったです。

久留米の家族会の人たちは私たちにブドウ狩りと花火大会に連れて行ってくれました。二つの活動はとても暑い日でしたけど、皆は楽しむことが出来ました。日本のブドウはアルゼンチンのより大きくて甘いと思います。花火は大きくて、きれいで、長いショーを初めて見れました。アルゼンチンのラプラタと言う町にも年一回に花火大会が行いますが、比較もできないほど日本のはとても良かったです。

ペルー福岡県人会

シバタ サウリルイス アンヘル コイチ

九州産業大学
造形短期大学部

(原文のまま)

夏休み

8月は私にとって多くの不安から始まりましたが、夏休みの月であり、非常に興味深い事が経験出来ると知っていたからです。今月は、自分自身についてもう少し知り、日本で一人で旅行することを学び、私の目標と限界を克服するのに役立ちました。

私の旅行は8月7日に始まり、早くに家を出て、静岡にいて7年以上も会っていない父と再会しました。福岡空港に行き、飛行機で名古屋まで行って、その後現在父親が住んでいる場所である掛川に電車で行く計画でした。空港に非常に早く到着し、空港ラウンジに行って飛行機に乗ることができるようになるまで待たなければならなかったのです。激しい雷と雨が降り始めたため、フライトの時間を1時間遅らせました、これら全てが私にとって冒険でした。

名古屋に着いた後、静岡に向かう途中で何度も電車で混乱しましたが、何とか辿り着く事ができました。掛川に着くと、駅で父が私を待っているのを見ることができ、そして久しぶりに彼をしっかりと抱きしめることができました。彼は私が2歳のときに日本に来て、そこからペルーに旅行していたときだけ彼に会ったので、私は父親と一緒に住むこともほとんどなく物事を共有することもできませんでした。

この旅で、父と一緒に3週間暮らす事が出来ました。現在、目覚めてから寝るまでの日常生活を知ることが出来ました。私たちは自分自身のこと、ここ数年経験したこと、そして私たちの生活について話すことができました。彼に私の現在の人間関係、結婚の計画についてもっと話せました。また一緒に散歩をしたり、スーパーに買物をしに行き、一緒にペルー料理をたくさん食べました。静岡に住んでいる義理の兄弟も会え、ネパール料理を食べに行ったり、彼は私を自分の家に連れて行ってくれ、午後を一緒に過ごして私たちの生活とここ数年で達成できたことについて話しました。

この夏休みの月には、富士山にも登ることができました。午後6時30分に富士の五合目から登り始めました。全部がシンプルに見えましたが、それほど長くて難しい登山になるとは思いませんでした。七合目に着いたとき、私の足はすでに凄く疲れていましたが、頂上まではまだたくさんありました。八合目を通過して九合目に到着したとき、九合目は現在壊れており、登り続けなければならなかったことに驚きました。この最後の道のりは非常に難しかったけど、私たちはすでに頂上まで後一步の距離にいたので、何とか登りきることが出来ました。

頂上に到着すると、私たちを待っていたのは強風でした、何とか自分自身を暖めることだけを考えていました。空腹と寒さはすでに限界だったので、私はレストランでこれまでの人生で最もおいしいうどんを食べました。

食べ終わって外に出ると、日の出がが始まっていました、日本で今まで見た中で最も凄いショーでした。私の記憶に一生刻まれた夜明けだった事は間違いないでしょう。疲れたましたが、とても綺麗で、長く、しかし美しい経験でした。

私はまた、ビーチに行って私の親友（10年間会っていなかった）と彼女の家族に会いました。これほど長い期間会っていなくても友情は何も変わってなく、まるで毎日会う関係のように話せました。

この非常に良い経験を出来たことを日本に感謝します。

メキシコ福岡県人会
寺本 飯田 利生 アルツーク

福岡調理師専門学校
調理師本科

(原文のまま)

夏休み

気づいたら夏休みは終わりました。すごく楽しい経験をして過ごしました。夏の暑さはすごかったです。毎日汗をかいたり水をたくさん飲んだり毎晩エアコンを付けました。一番つらかったのは、湿度でした。メキシコと比べたらすごくつらかったです。そして梅雨は想像以上にすごくてビックリしました。

大学の夏休みの前に、していしょうへいにさんかしました。そこでアルゼンチン人とボリビア人とコロンビア人とカナダ人とアメリカ人とメキシコ人とパラグアイ人とブラジル人の子供たちが来ました。私はちょうど大学で忙しくて毎日一緒に行けなかったがいい思い出を作れました。子供たちはすごく明るくて感動しました。そこで一緒に過ごした時は福岡の観光したり一緒に料理を食べたり話したり、サッカーで遊んだりすごくいい思い出になりました。短い間でしたがたくさん遊んだり色んな国の違いを学んだりすごく楽しかったです。

一番思い出に残ったのは三つあります。一つ目は、皆と一緒に天満宮行って梅ヶ枝餅を作ったり観光したり美味しいお弁当を食べたことです。二つ目は皆と一緒に温泉に入ったことです。子供たちは全員友達だったから温泉で遊ぶことができ、笑っていました。三つ目は皆と毎日ごはんを食べていたことです。留学生たちは毎晩一緒に晩御飯を作ったり一緒に食べているんですが、していしょうへいの違うことは作らなくてもいいいつも量が多くてすごく嬉しかったです。

私の大学は最初に夏休みに入りました。なので、最初は一人で散歩したり外食をしました。しかしその後は皆夏休みに入ってもっと楽しかった。皆夏休みに入ったら福岡にある海に行きました。海で一日遊び、サンドイッチを食べました。海の後には皆のはだは黒かったです。

そしてアルゼンチン人のニコとボリビア人のケヴィンとコロンビア人のさちと沖縄に行きました。梅雨だったから雨が降っていましたが海に入ったり観光しました。そして二千元札ももらいました。沖縄で色んな美味しい食べ物を試して嬉しかったです。水族館にも行くことができましたが、人が多くてゆっくり見れなかったです。けれど、綺麗な場所でした。魚と動物は素晴らしいと思いますがちょっと悲しかったです。生きているものが箱の中にいるのは寂しいとも感じました。

沖縄で一番思い出に残ったのは三つあります。一つ目はホステルです。いつもホステルは危ないしきたない感じするが、掃除がちゃんとしてありました。そして荷物はそのままおく

のは、危なかったです。二つ目は料理です。沖縄は日本料理と違うことあったから驚きました。三つ目は皆と一緒にバナナボートにのり、すごく楽しかったことです。

沖縄から帰った日は久留米で花火大会がありました。沖縄のチケットを買った時に花火大会のイベントを知らなかったがちゃんと花火大会を見られました。花火はすごく大きくて素晴らしいと思います。

帰った後は毎日皆と一緒に晩御飯食べたりゲームで遊んだりすごく楽しかった。

夏休み終わる前にぶどう狩りに行きました。私はぶどうが大好きからとても嬉しかったです。家族会と一緒に行きました。ぶどうはすごく美味しくて、初めてこんな美味しいぶどうを食べました。ぶどう狩りの後はそばを作りに行きました。授業でちょっと学んだが実際に作ると、作り方に驚きました。すごく楽しかった。その日皆寮に帰ったら作ったそばを食べました。

(原文のまま)

夏の事

夏は私の大好きな季節です。天気が良く、学校から夏休みがあるので、好きな物をする事ができます。特に日本の夏がだいすきです。かなり暑いですが、多くのイベントがあり、夏にはやる事がたくさんあります。自分の母国アメリカで学校の夏休みは大抵6月から9月まで、でも日本は一応8月だけです。つまり、夏休みは1か月しかありませんでしたが、夏はとても楽しかったです。私がした最も記憶に残ることは子弟招へいに参加したことだと思います。この夏、私は一生懸命勉強し、たくさん遊び、たくさんの良い思い出を作りました。

夏の初めに子弟招へいと言う行事が行われました。様々な国の福岡県人会からの子供と引率者の方々が福岡へ来ました。そして宗像市のグローバルアリーナで10日間泊まって引率者の方々と一緒に子供たちのお世話をしました。色んな伝統的なことを体験して子供たちと一生懸命に楽しみました。海外の国からたくさんの明るい人達と合ってとても良かったです。さらにたくさんのお思い出を作ったり新しい友達も出来たりとっても楽しかったです。

アメリカ大陸のさまざまな国から19人の子供たちと12人の引率者たちが日本に来ました。自分の母国アメリカからは4人の子供と3人の大人がいました。この10日間の間はとても忙しくて予定がいっぱいあって色んな活動をしました。例えば流し素麺をやったり水鉄砲をつくったり、それと近くにある小学校へ訪問しました。小学校を訪問した時に子弟招へいの子供たちが日本人の学生たちと交流しました。機会があれば引率者としてまた子弟招へいに参加したいと思います。

夏の間ずっと私は西南学院大学へ通って勉強をしました。授業は多くて大変でしたが充実していました。日本の大学生の生活を体験するのは素晴らしいことでした。レポートの作成やテストの実施など、多くのことに集中する必要がありました。8月の終わりに西南学院大学で新しい学期が始まりましたので。夏休みは短かったので、旅行も遊びもあまりできませんでした。でも、学校の以外で楽しい事を少しできました。

日本の夏に夏祭りや花火大会がよく行われています。私は他の県費留学生と2つの夏祭りに行きました。まずは北九州の家族会の方々とわっしょい夏祭りへ行きました。そこで色々な食べ物を食べました。例えば北九州の餃子やポテトフライとたこ焼きを食べました。人の人数がかなり多くてとても賑やかな感じでした。それから久留米の家族会の方々と一緒に花火大会を見に行きました。筑紫川の前で花火大会が開催されました。私たちは花火を見ながら食べ、飲み、互いに話しました。本当に映画のような夕方でした。2つの行事はとても楽しかったので、福岡県の家族会の皆様に感謝しています。

県費留学生として半年しかありません。ですからこれから一生懸命に勉強をして県費留学生の生活を楽しんで続けます。続きます。これからもよろしくお願いします。ありがとうございました。